株式会社4℃ホールディングス
（東証一部 8008）

第65期（2015年2月期）決算説明会

2015年4月13日

4℃ holdings group

Contents

4℃ holdings group

Ⅰ. 2015年2月期決算概要と総括

Ⅱ. 第３次中期経営計画の総括

Ⅲ. 2016年2月期業績予想、重点取り組み課題と施策

㈱4℃ホールディングス　代表取締役社長　鈴木秀典

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようにお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

連結業績の概要

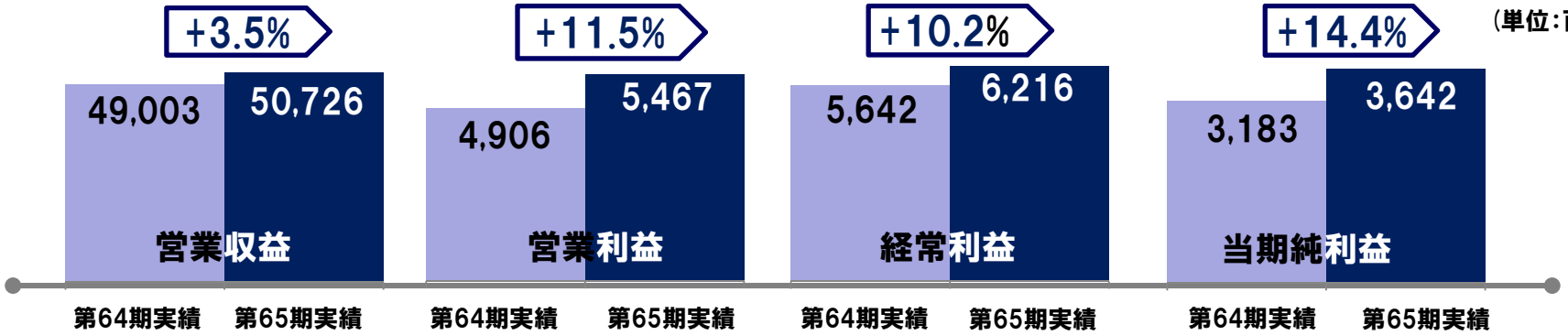
4℃ holdings group

増収増益、営業利益・当期純利益は3期連続、経常利益は4期連続で過去最高益を更新

営業収益　507.3億円（前期比3.5％増）　営業利益　54.7億円（同11.5％増）

経常利益　62.2億円（同10.2％増）　当期純利益　36.4億円（同14.4％増）

（単位：百万円）

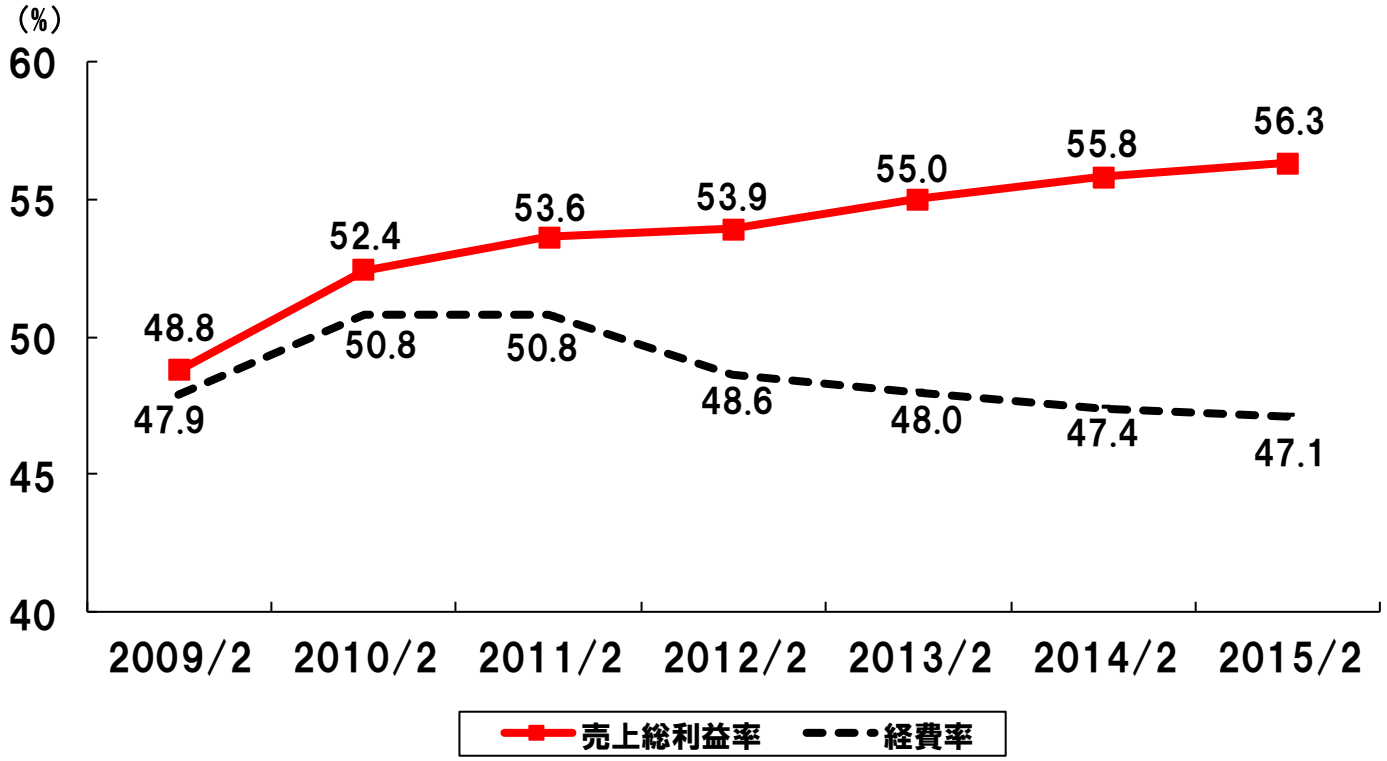


（百万円、％）	第64期（2014/2）実績	（％）	第65期（2015/2）計画	（％）	第65期（2015/2）実績	（％）	前期比増減（％）	計画比増減（％）
営業収益	49,003		51,500		50,726		+3.5	△1.5
売上高	48,140	100.0	50,650	100.0	49,868	100.0	+3.6	△1.5
売上総利益	26,878	55.8	28,750	56.8	28,079	56.3	+4.5	△2.3
売上総利益率	55.8		56.8		56.3		+0.5pt	△0.5pt
販売管理費	22,835	47.4	24,200	47.8	23,469	47.1	+2.8	△3.0
営業利益	4,906	10.2	5,400	10.7	5,467	11.0	+11.5	+1.2
経常利益	5,642	11.7	6,300	12.4	6,216	12.5	+10.2	△1.3
当期純利益	3,183	6.6	3,750	7.4	3,642	7.3	+14.4	△2.9

利益率の改善①

4℃ holdings group

収益構造が一層改善、損益分岐点が低下

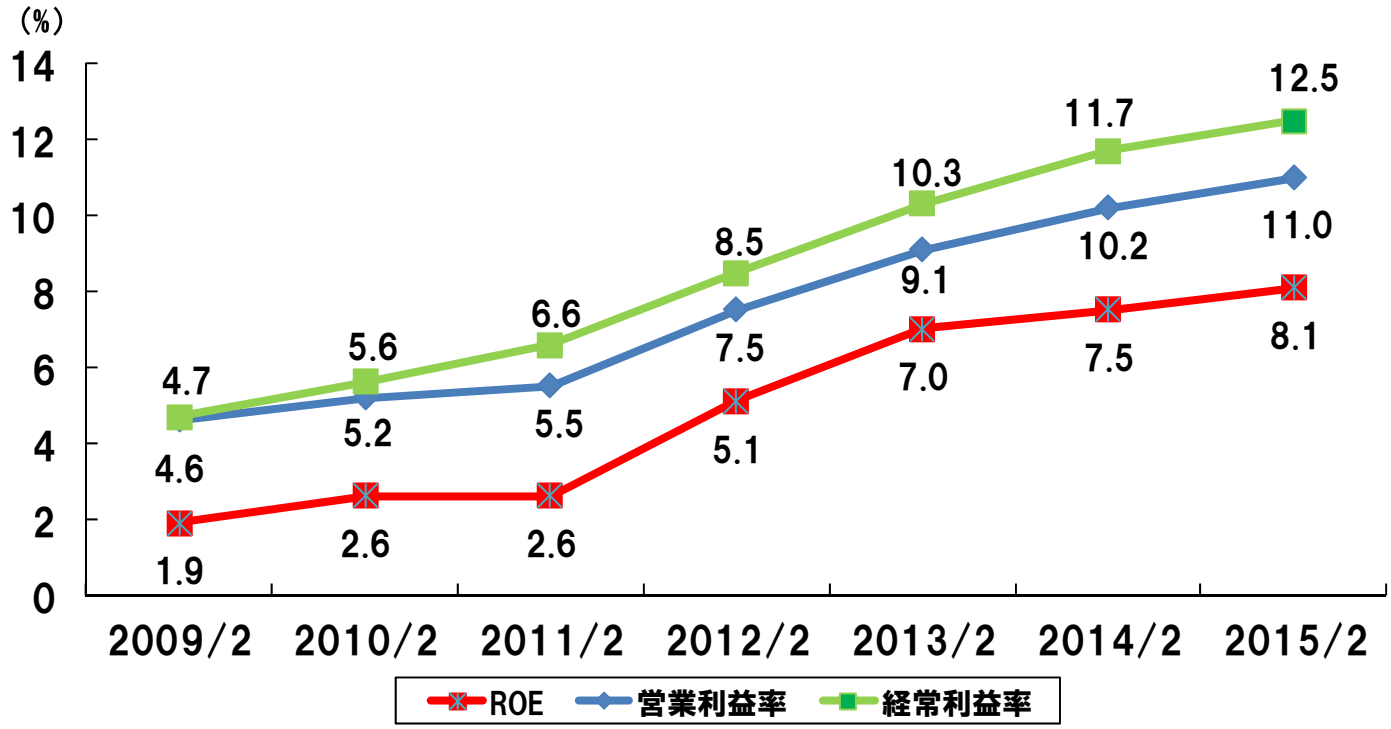


（分母は全て商品売上高）

利益率の改善②

4℃ holdings group

経常利益率、ROEともに大幅に上昇

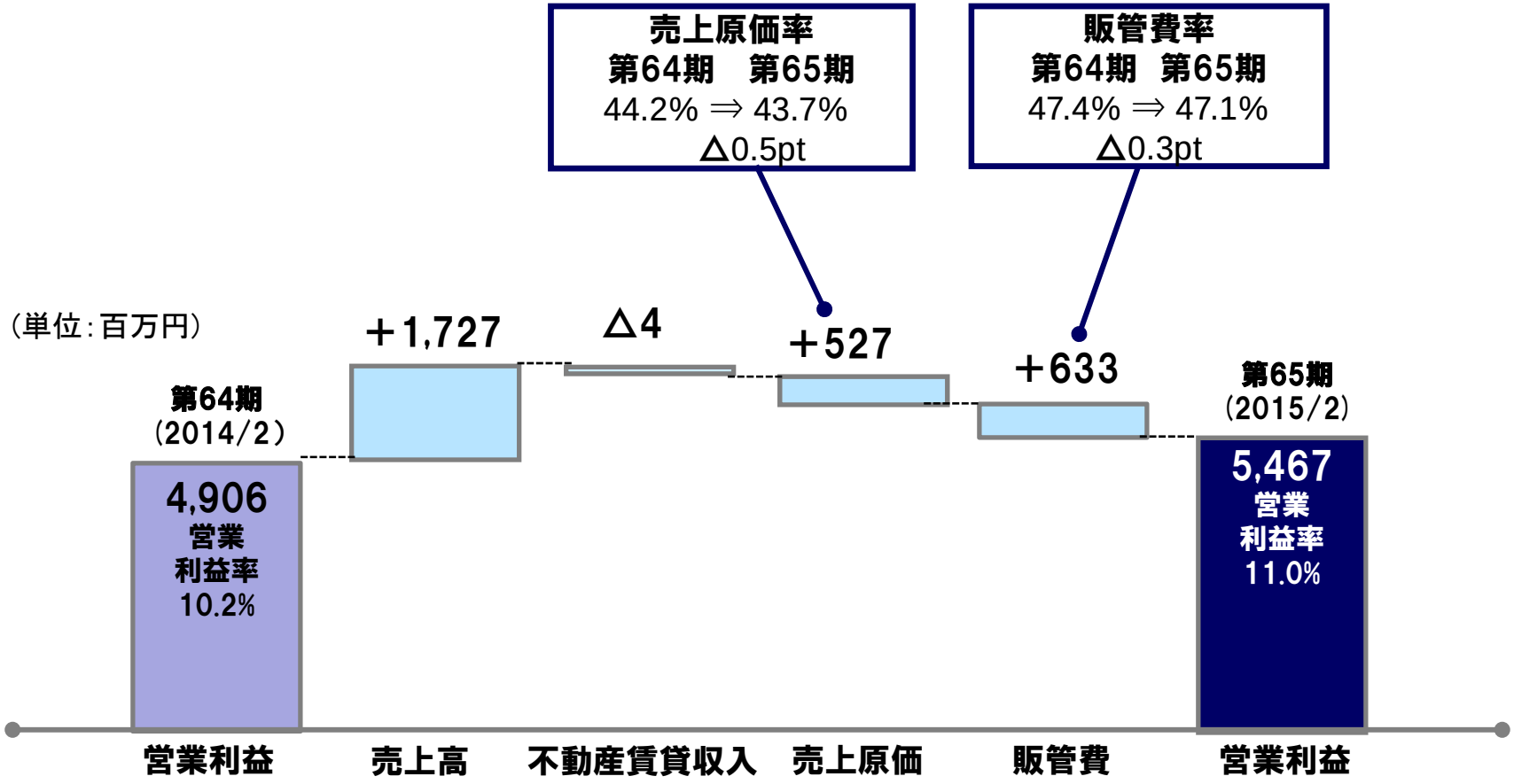


（営業利益率と経常利益率の分母は商品売上高）

営業利益の増加要因

4℃ holdings group

営業利益　54億6,700万円　計画を上回り大幅に増加



営業利益・経常利益・当期純利益の推移

4℃ holdings group

（単位：百万円）

段階利益	第64期 累計 （2014/2）	第65期 1Q期間	第65期 2Q期間	第65期 3Q期間	第65期 4Q期間	第65期 累計 （2015/2）	前年差	増減率 （％）
営業収益	49,003	12,672	11,143	12,095	14,816	50,726	1,723	+3.5
売上総利益	26,878	6,953	5,913	6,728	8,483	28,079	1,200	+4.5
営業利益	4,906	1,560	700	1,044	2,163	5,467	561	+11.5
営業外収益	752	299	41	210	246	797	45	+6.0
営業外費用	15	3	39	3	3	49	33	+209.3
経常利益	5,642	1,856	703	1,251	2,406	6,216	574	+10.2
特別利益	35	47	104	—	—	152	117	+329.2
特別損失	243	19	80	33	219	352	108	+44.8
税金等調整前当期（四半期）純利益	5,435	1,884	727	1,218	2,187	6,017	582	+10.7
当期（四半期）純利益	3,183	1,184	358	746	1,354	3,642	459	+14.4

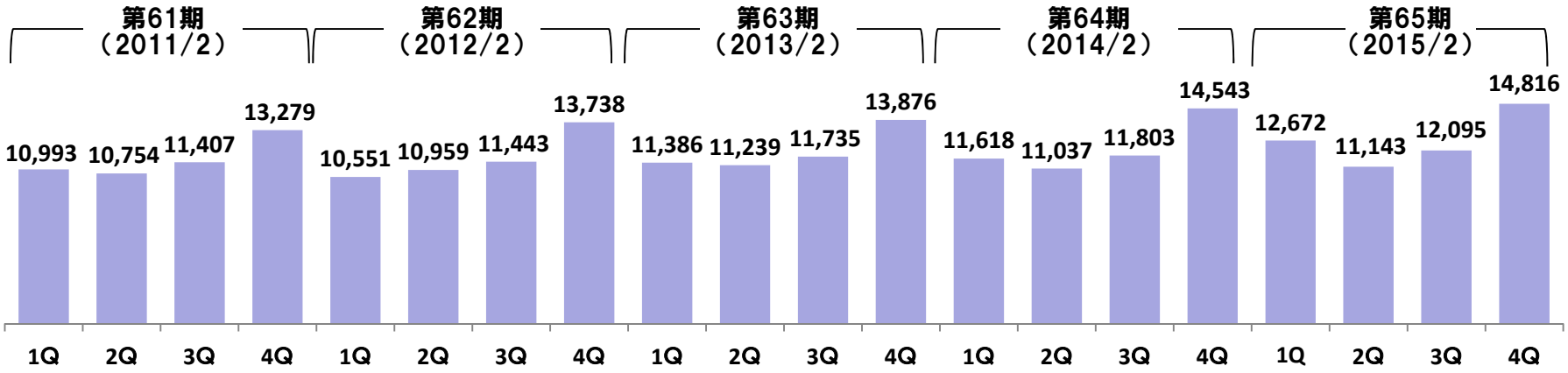
四半期業績の推移

4℃ holdings group

営業収益、営業利益とも順調に成長

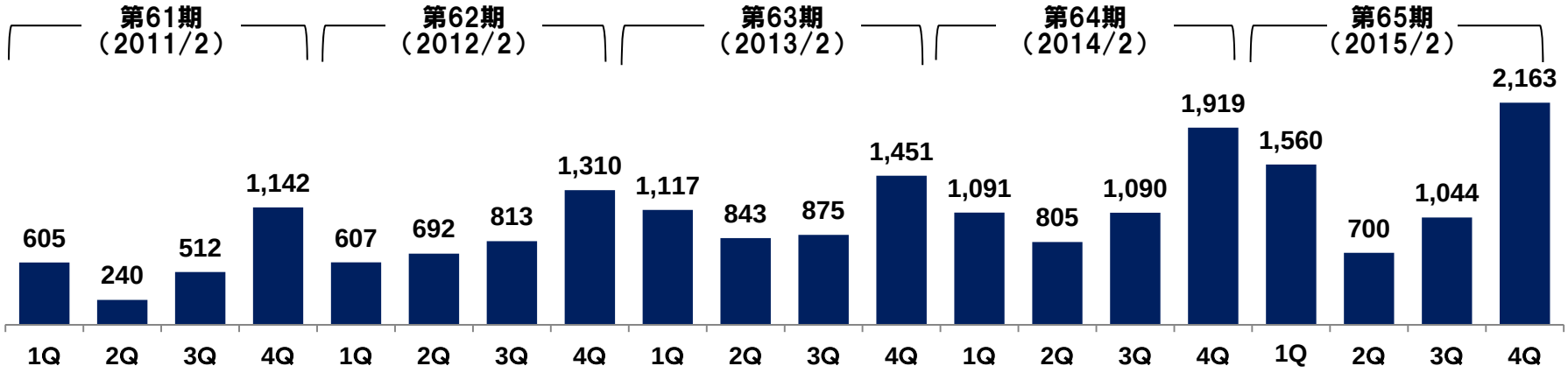
営業収益　四半期別の推移

（単位：百万円）



営業利益　四半期別の推移

（単位：百万円）

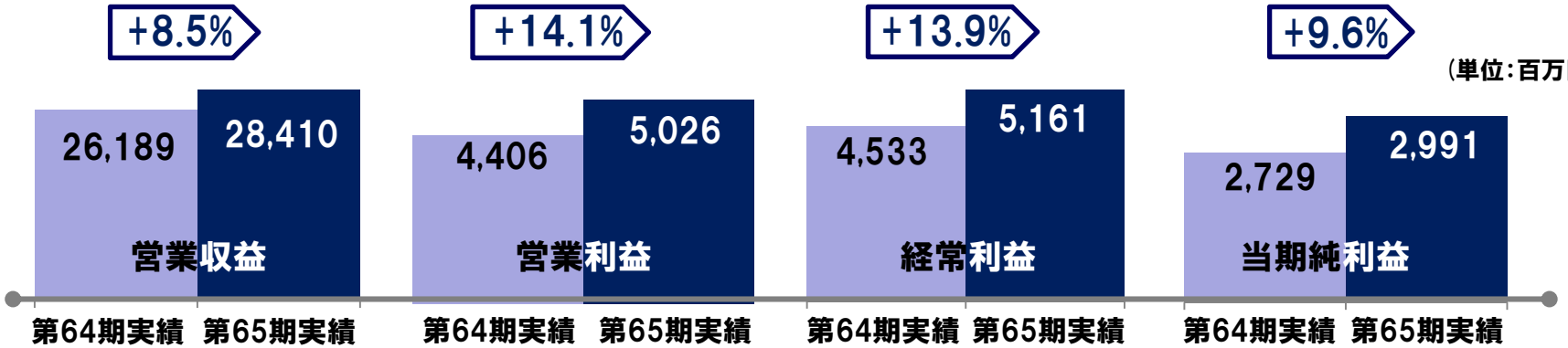


セグメント別の概要

4℃ holdings group

◆ FDCプロダクツグループ

- □ 全ての利益で過去最高を更新、既存店売上4年連続増加
- □ 4℃ジュエリーのファッションジュエリーが好調
- □ 「4℃BRIDAL」、「canal4℃」の新規出店も増収に寄与



(百万円、%)	第64期(2014/2) 実績	(%)	第65期(2015/2) 計画	(%)	実績	(%)	前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
営業収益	26,189	100.0	28,180	100.0	28,410	100.0	+8.5	+0.8
営業利益	4,406	16.8	4,858	17.2	5,026	17.7	+14.1	+3.4
経常利益	4,533	17.3	4,982	17.7	5,161	18.2	+13.9	+3.6
当期純利益	2,729	10.4	2,896	10.3	2,991	10.5	+9.6	+3.3

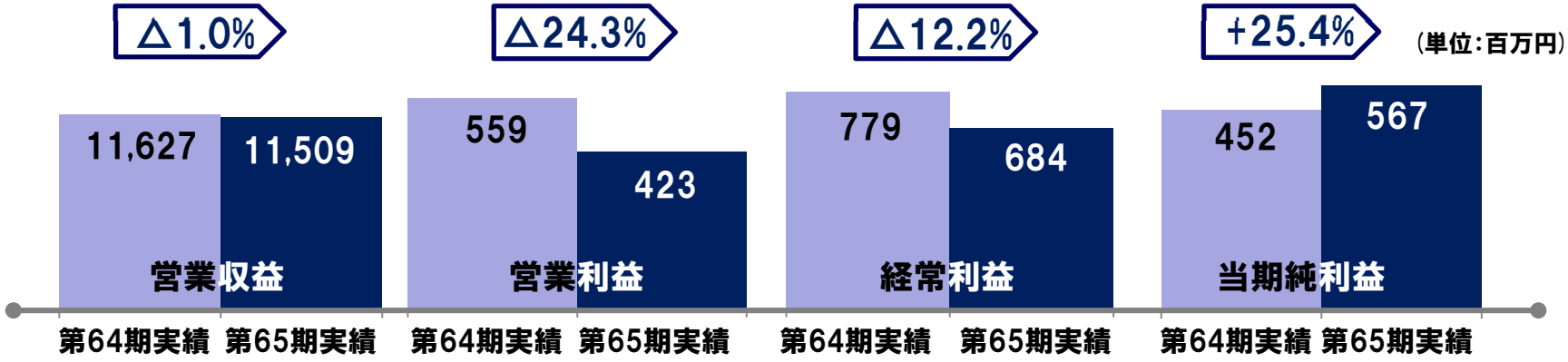
(※内部相殺前数値)

セグメント別の概要

4℃ holdings group

◆ アスティグループ

- 子会社の苦戦により売上高は減少
- 急激な円安の影響により利益率が低下



（百万円、％）	第64期（2014/2） 実績	（％）	第65期（2015/2） 計画	（％）	実績	（％）	前期比 増減(％)	計画比 増減(％)
営業収益	11,627	100.0	12,127	100.0	11,509	100.0	△1.0	△5.1
営業利益	559	4.8	587	4.8	423	3.7	△24.3	△28.0
経常利益	779	6.7	798	6.6	684	5.9	△12.2	△14.3
当期純利益	452	3.9	589	4.9	567	4.9	+25.4	△3.7

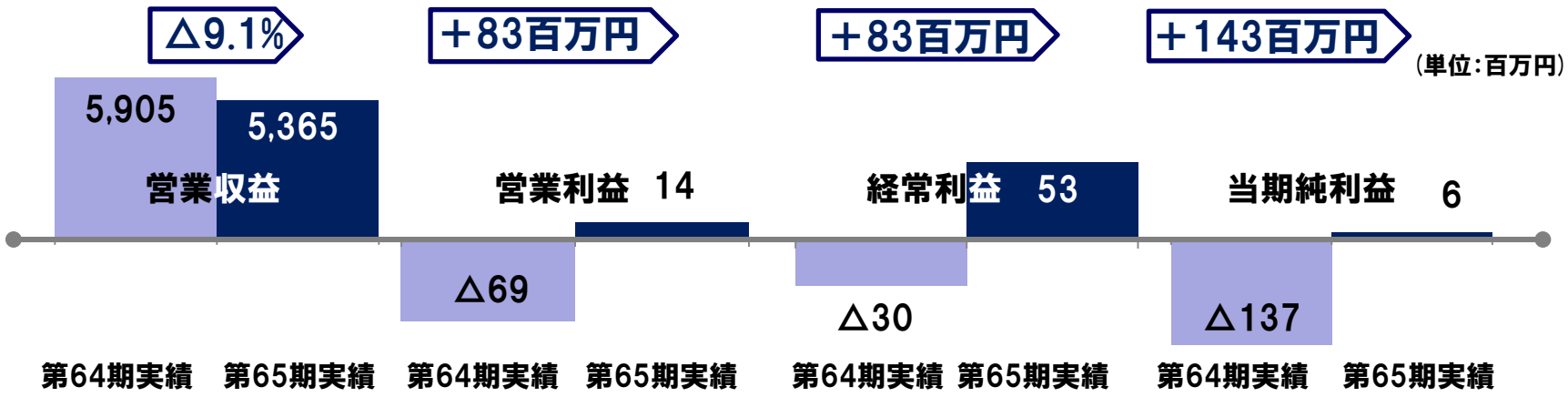
（※内部相殺前数値）

セグメント別の概要

4℃ holdings group

◆ ㈱三鈴

- 不採算店舗の圧縮や既存店活性化に向けた販促活動強化を継続
- 経費削減が奏功し黒字化



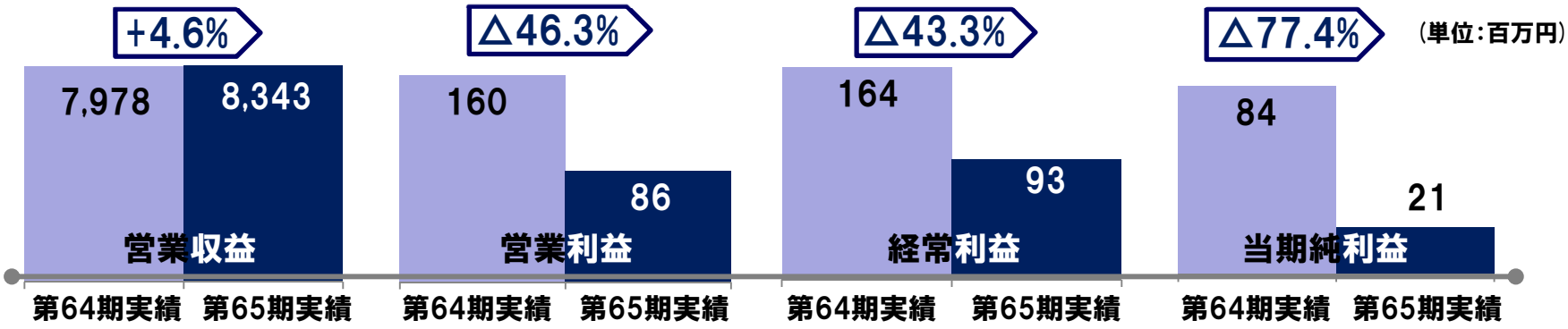
(百万円、%)	第64期(2014/2) 実績	(%)	第65期(2015/2) 計画	(%)	実績	(%)	前期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
営業収益	5,905	100.0	5,506	100.0	5,365	100.0	△9.1	△2.6
営業利益	△69	―	70	1.3	14	0.3	+83百万円	△79.9
経常利益	△30	―	100	1.8	53	1.0	+83百万円	△46.8
当期純利益(損失)	△137	―	50	0.9	6	0.1	+143百万円	△88.0

セグメント別の概要

4℃ holdings group

◆ ㈱アージュ

- □ デイリーファッション事業の既存店売上高は5年連続で前年を上回り推移
- □ 会員制小売のラポールや事業撤退したLOUが苦戦



(百万円、%)	第64期(2014/2) 実績	(%)	第65期(2015/2) 計画	(%)	第65期(2015/2) 実績	(%)	前期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
営業収益	7,978	100.0	8,841	100.0	8,343	100.0	+4.6	△5.6
営業利益	160	2.0	190	2.1	86	1.0	△46.3	△54.7
経常利益	164	2.1	193	2.2	93	1.1	△43.3	△51.9
当期純利益	84	1.1	98	1.1	21	0.2	△77.4	△80.6

財政状態、キャッシュ・フローの状況（連結）

4℃ holdings group

総資産609億円、負債151億円、純資産458億円
法人税等の支払額の増加等で営業CF 8億5,500万円減少
フリーCF 31億4,400万円、3億4,800万円の増加

財務状況

2015年2月末時点

キャッシュ・フロー

（単位：百万円）	第64期（2014/2）	第65期（2015/2）	差額
営業CF	5,185	4,329	△855
投資CF	△2,389	△1,184	1,204
財務CF	△823	△3,298	△2,474
フリーCF	2,796	3,144	348

設備投資・減価償却費の概要（連結）

4℃ holdings group

設備投資額 ： 1,730百万円　減価償却費 ： 1,097百万円

（百万円、％）	第64期（2014/2）実績	第65期（2015/2）実績	前期差
設備投資額（長期前払費用含む）（CFベース）	1,136	1,676	+540
敷金・保証金	72	54	△18
合計	1,209	1,730	+521

（百万円、％）	第64期（2014/2）実績	第65期（2015/2）実績	前期差
減価償却費	987	1,097	+110

2015年2月期総括

4℃ holdings group

ジュエリーは過去最高益を更新して好調に推移
アパレルは苦戦するも改善し、全体では計画を上回って推移
営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益を更新

1. FDCプロダクツグループ
   ⇒　4℃ジュエリー、canal4℃のファッションジュエリーの好調と出店拡大により増収増益、過去最高益を更新

2. アスティグループ
   ⇒　円安の影響等もあり減収減益

3. ㈱三鈴
   ⇒　不採算店舗の圧縮等により黒字化

4. ㈱アージュ
   ⇒　主力のパレットの新店効果があったが、ラポール等の苦戦もあり増収減益

出退店の状況と計画

4℃ holdings group

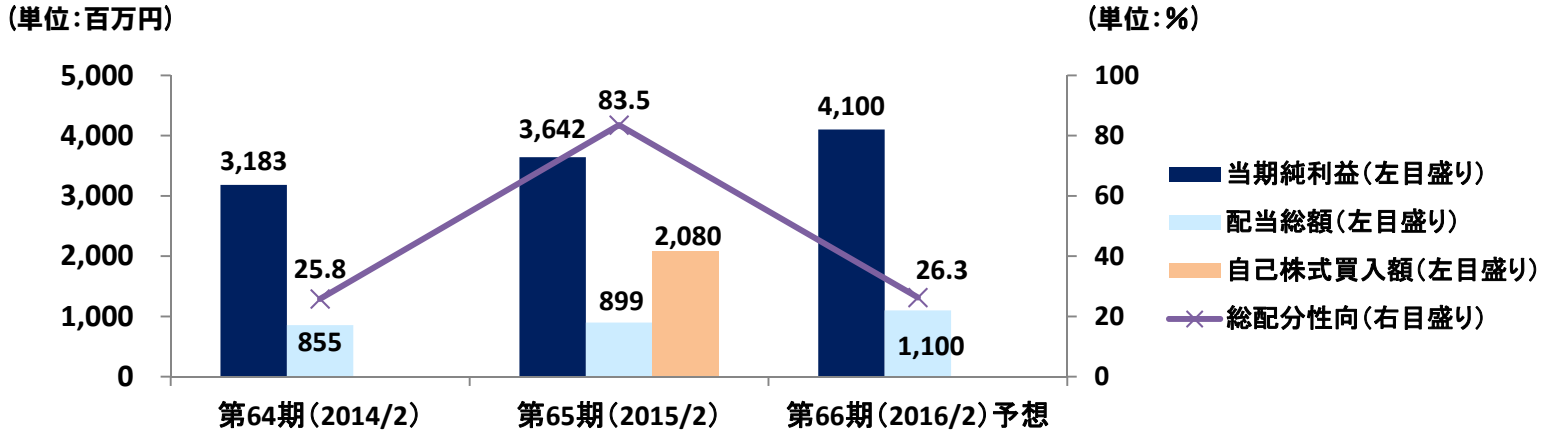
計画通りの出店を実施、「4℃BRIDAL」は年間6店舗、「canal4℃」は年間6店舗を出店、「Luria4℃」は年内6店舗の出店

		FDCプロダクツグループ								㈱三鈴	㈱アージュ	合計
		国内ジュエリー					海外ジュエリー	Luria 4℃	4℃ バッグ			
		4℃	4℃ BRIDAL	canal 4℃	その他	計						
第64期（2014/2）	期末	88	31	30	21	170	5	–	28	88	80	359
第65期 実績（2015/2）	出店	3	6	6	4	19	2	6	7	1	9	41
	退店	3	1	1	4	9	1	0	1	13	13	37
	期末	88	36	35	21	180	6	6	34	76	76	363
第66期 計画（2016/2）	出店	3	2	9	1	15	0	6	9	1	5	35
	退店	0	0	1	5	6	0	0	0	3	0	9
	期末	91	38	43	17	189	6	12	43	74	81	391

その他：EAUDOUCE4℃、RUGIADA、MAISON JEWELL、deux et deux他
※FDCプロダクツグループはブランド取扱い店舗数。アージュにおける販売代行店舗調整後数値。

株主還元方針

- 安定的・継続的な配当を基本とし総配分性向25％を基本に計画
  - ⇒ 2015年2月期は前期に比べ2円増配の32円
  - ⇒ 2014年9月に1,040,100株の自己株式の買入を実施
- 2016年2月期は年間40円と8円増配予定
- 総配分性向の目標を段階的に高め、中期的に30％を目指す
- 機動的な自己株式の取得の継続



	第64期（2014/2）	第65期（2015/2）	第66期（2016/2）予想
1株当たり年間配当金（円）	30	32	40
自己株式買入額（百万円）	―	2,080	―
総配分性向（％）	25.8	83.5	26.3
1株当たり当期純利益（円）	116.40	134.99	151.95

コーポレートガバナンスの強化

4℃ holdings group

□2015年3月1日より、執行役員制度を導入

⇒ 執行役員への権限委譲を推進し、業務執行上の意思決定の迅速化と業務執行の効率化を実現

⇒ 優秀な従業員を執行役員に登用することで経営者を育成

□監査等委員会設置会社への移行を検討

⇒ 取締役会において監査等委員である取締役に議決権を付与し、監査・監督機能を一層強化

⇒ 5月の株主総会での承認後、施行予定

Ⅰ．　2015年2月期決算概要と総括

Ⅱ．　第３次中期経営計画の総括

Ⅲ．　2016年2月期業績予想、重点取り組み課題と施策

第3次中期経営計画：基本方針と成果

4℃ holdings group

第3次中期経営計画（2013年2月期～2015年2月期）の基本方針

- 積極的な投資を行うことによる売上高の拡大と、それに伴った利益成長の実現

- 「予測される未来に手を打つ」、「6年後のあるべき姿の想定」をキーワードに、「攻めの姿勢」を基本とした事業戦略を推進

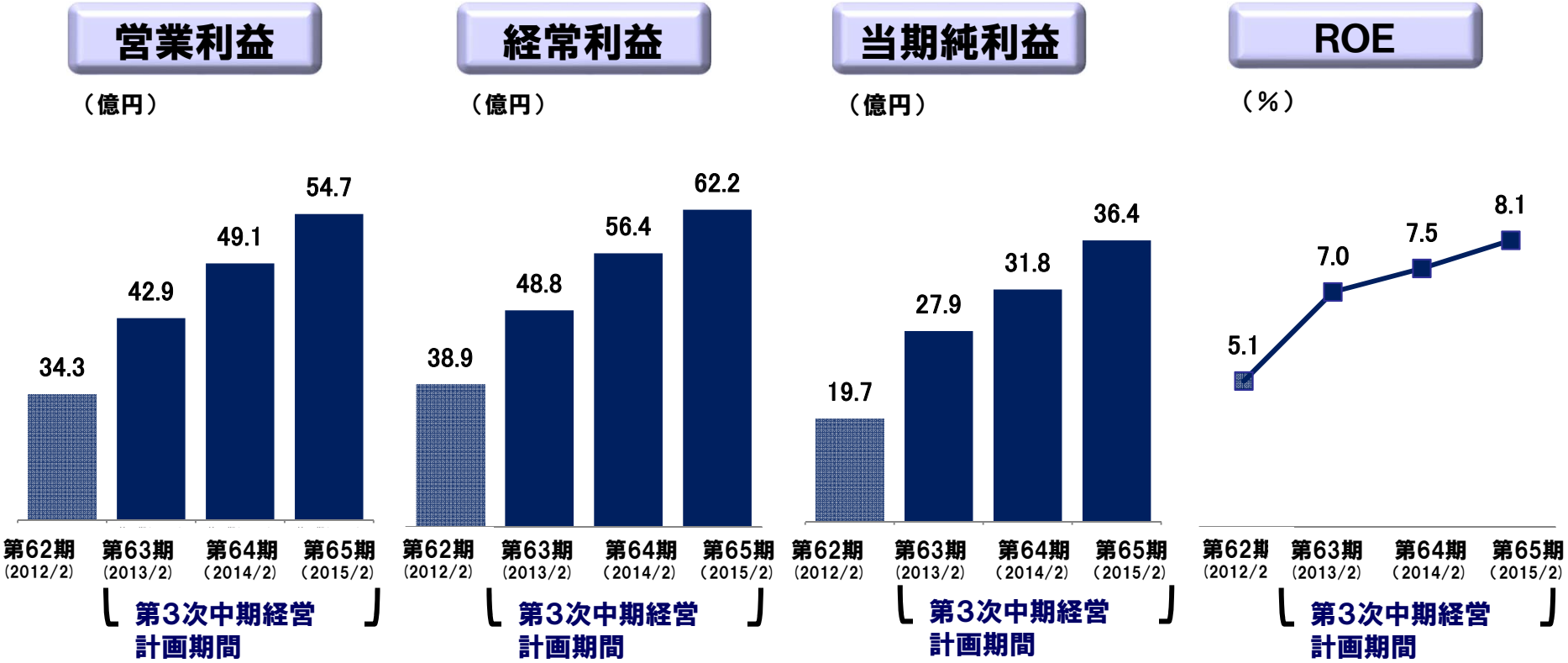
↓

事業ビジョン、組織ビジョン、数値ビジョンを掲げ
施策を着実に実施
成長軌道への転換を強力に推進

第3次中期経営計画：3ヵ年の業績推移

4℃ holdings group

- 2013年2月期から2015年2月期の3ヵ年で大幅に利益が拡大
- 営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益を毎期更新
- ROEも8％を上回り、大幅に改善



第3次中期経営計画：重点戦略の成果

4℃ holdings group

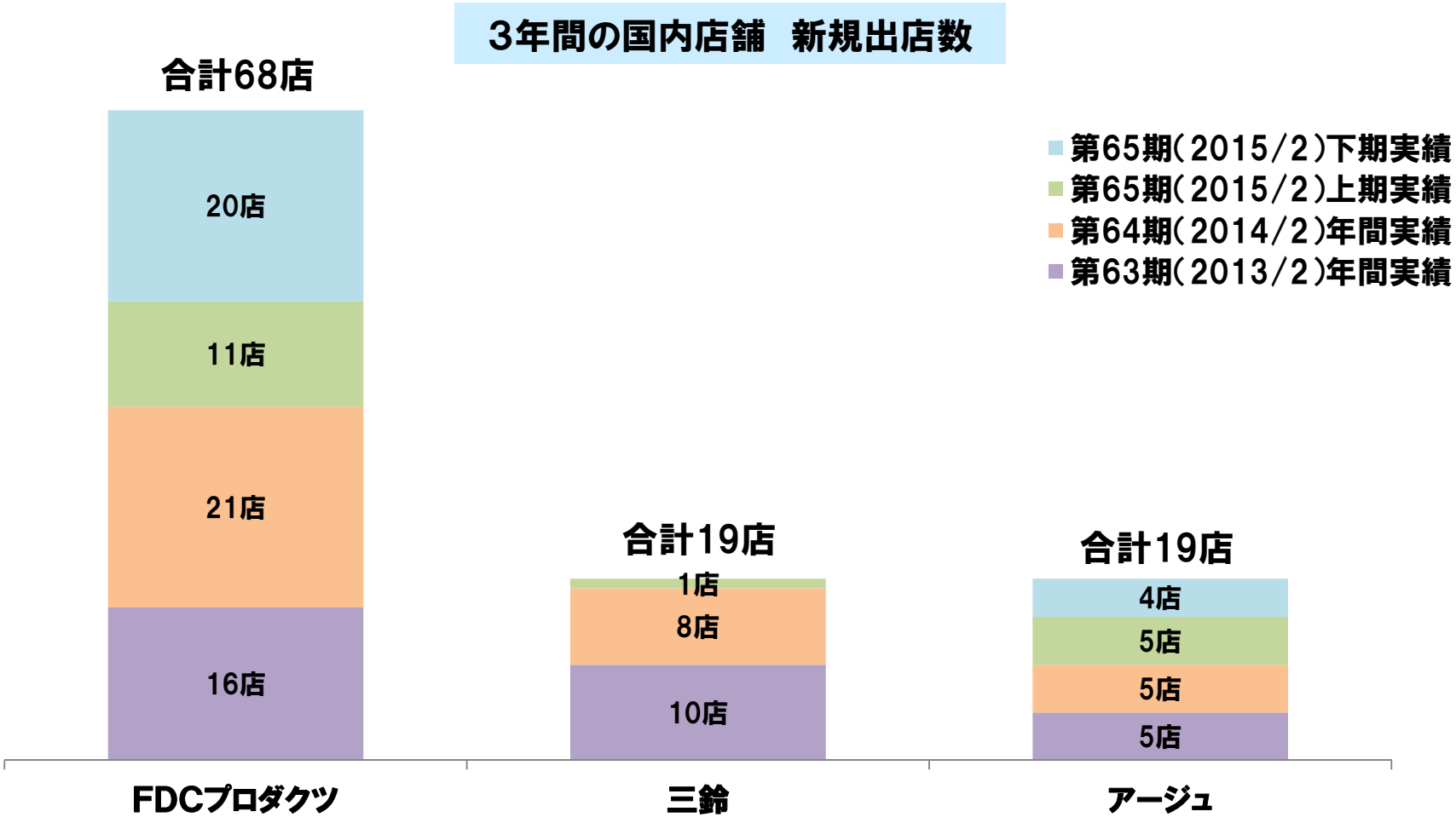
成長分野への積極投資、組織力強化とも着実に実施

	目標	2015年2月期終了時の成果
重点戦略 ～成長分野への積極投資	出店開発 3年間で国内100店舗	2015年2月末で106店舗を出店
	4℃ブランド価値向上 3年間で広告販促費約10億円上積みし、総額約40億円投資	店舗の什器内プロト変更、TVCM等で3年総額52億円の投資
	M＆A 自己資金の充実で100～200億円レベルの案件への投資検討	ジュエリー関連を中心に、利益を出しており、当社が展開していない分野の成長性を持ったブランドや会社のM＆Aを志向してきたが、引き続き検討中
～組織力強化	取締役管掌制度の導入 人材育成の強化	海外生産、人材育成で連携が進む執行役員制度の導入を決定

重点戦略　成長分野への積極投資

4℃ holdings group

3年間で国内100店舗出店目標 ⇒ 計画を上回り106店舗出店達成



Ⅰ．　2015年2月期決算概要と総括

Ⅱ．　第３次中期経営計画の総括

Ⅲ．　2016年2月期業績予想、重点取り組み課題と施策

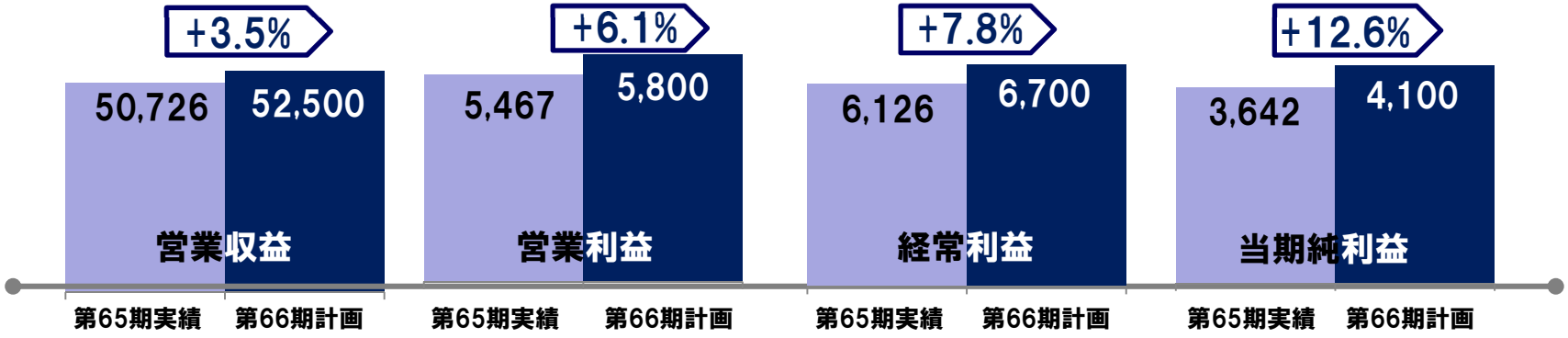
2016年2月期連結業績予想

4℃ holdings group

増収増益、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益更新の計画

営業収益525億円（前期比3.5％増）　営業利益58億円（前期比6.1％増）

経常利益　67億円（前期比7.8％増）　当期純利益41億円（前期比12.6％増）



（百万円、％）	第65期（2015/2）実績	（％）	第66期（2016/2）計画	（％）	前期比増減（％）
営業収益	50,726		52,500		+3.5
売上高	49,868	100.0	51,660	100.0	+3.6
売上総利益	28,079	56.3	29,500	57.1	+5.1
売上総利益率	56.3		57.1		+0.8Pt
販売管理費	23,469	47.1	24,550	47.5	+0.4
営業利益	5,467	11.0	5,800	11.2	+6.1
経常利益	6,126	12.5	6,700	13.0	+7.8
当期純利益	3,642	7.3	4,100	7.9	+12.6

事業セグメントの変更

4℃ holdings group

2015年2月期までに構築された成長軌道のもと、
2016年2月期より一層の成長拡大に向け、経営管理の明確化を目的に
事業セグメントを変更する予定

旧事業セグメント	新しい事業セグメント
FDCプロダクツグループ	ジュエリー事業（成長牽引事業）
アスティグループ （株）三鈴 （株）アージュ	アパレル事業（安定収益基盤事業）

セグメント別通期業績予想（内部相殺前数値）

4℃ holdings group

ジュエリー事業は引き続き増収増益の見込み
アパレル事業は営業収益、営業利益ともほぼ横ばいの見通し

（百万円、％）		第65期（2015/2）	第66期（2016/2）	
		実績	予想	前期比
ジュエリー事業	営業収益	28,410	30,170	+6.2
	営業利益	5,026	5,361	+6.7
	経常利益	5,161	5,493	+6.4
	当期純利益	2,991	3,400	+13.7
アパレル事業	営業収益	25,217	25,014	△0.8
	営業利益	523	556	+6.4
	経常利益	830	803	△3.3
	当期純利益	594	433	△27.1

※1　第65期の実績は、遡及修正した数値
※2　営業収益には不動産賃貸収入・経営指導料含む。

2016年2月期重点施策～6本柱の計画

4℃ holdings group

ジュエリーの3本の柱で、全体を牽引

成長エンジン6本柱の計画

	2015年2月期実績				2016年2月期計画			
（単位：百万円）	売上高	前期比（%）	経常利益	前期比（%）	売上高	前期比（%）	経常利益	前期比・差（%）
4℃ジュエリー合計	21,322	+1.5	3,868	△5.3	22,620	+6.1	4,100	+6.0
[4℃ジュエリー]	14,956	+3.5	2,819	+3.5	15,620	+4.4	2,940	+4.3
[4℃BRIDAL]	6,366	△3.1	1,049	△23.5	7,000	+10.0	1,150	+9.6
canal4℃	3,445	+19.5	581	+46.2	3,963	+15.0	670	+15.3
アパレルメーカー事業	4,832	△0.8	156	△11.1	5,145	+6.5	235	+50.6
アパレルSPA事業	5,365	△9.1	53	+83百万円	5,100	△4.9	74	+39.6
デイリーファッション事業	6,847	+9.0	74	△36.7	7,286	+6.4	63	△15.8
合計	41,811	+2.1	4,732	△0.3	44,114	+5.6	5,142	+8.7

2016年2月期重点施策～ジュエリー事業

4℃ holdings group

◆ 出店戦略の継続

- □ 「canal4℃」の出店拡大を加速、年内9店舗出店予定
- □ 「Luria4℃」は年内6店舗出店予定

2016年2月期重点施策～ジュエリー事業

4℃ holdings group

◆ 改装計画にあわせたブランドミックスによる既存店の活性化

- □ 改装計画にあわせた複合店展開の提案・実施
- □ 4℃Pregence、4℃Watch、バッグ等の展開による売り場面積拡大

2016年2月期重点施策～アパレル事業

4℃ holdings group

◆ アパレルメーカー：バングラデシュへの生産シフトによる利益率の改善

□ バングラデシュでの生産数を年間100万枚、アパレルメーカー事業における海外生産割合の30％まで引き上げ

◆ アパレルSPA：基幹ブランド「Rew de Rew」の再構築による収益性の改善

□ 都市型店舗と地方・郊外型店舗の特徴に合わせたMD継続によりチャネル対応力を強化

◆ デイリーファッション：「パレット」の関西ドミナント出店の継続による売上拡大

□ 関西地区への「パレット」のドミナント出店を継続、年間5店舗を計画

2016年2月期重点施策～組織力強化

4℃ holdings group

◆ 女性の活躍推進への取り組み　（2015年3月1日実施）

- □ エフ・ディ・シィ・フレンズにて女性の執行役員を登用
- □ エフ・ディ・シィ・フレンズにおける契約社員168名の正社員登用の実施

株式会社4℃ホールディングス
（東証一部 8008）

第4次中期経営計画
（2016年2月期～2018年2月期）

挑戦と進化　Challenge and Evolution

2015年4月13日

4℃ holdings group

第4次中期経営計画基本方針

4℃ holdings group

対象期間：2016年2月期～2018年2月期の3ヵ年

◆ スローガン

挑戦と進化　Challenge and Evolution

「100年企業」、「100年ブランド」を目指して

◆ ビジョン達成に向けて

- 人材の育成
- 商品力の強化
- マーケット動向の把握

第4次中期経営計画基本方針～事業ビジョン

4℃ holdings group

1 **FDCプロダクツグループ**
チャネル戦略の推進とゾーンおよびアイテム拡大によるジュエリーSPA事業の更なる成長

2 **アスティグループ**
アパレルメーカー事業の拡大とホールセール事業の再構築

3 **㈱三鈴**
ブランド集約によるアパレルSPA事業の再構築

4 **㈱アージュ**
パレットの認知度向上によるデイリーファッション事業の拡大

5 **「4℃」ブランドの価値向上**

6 **EC事業の成長**

7 **海外小売事業戦略の推進**

第4次中期経営計画基本方針～組織ビジョン

4℃ holdings group

1 グループシナジー体制の推進

2 グループ人材育成の推進

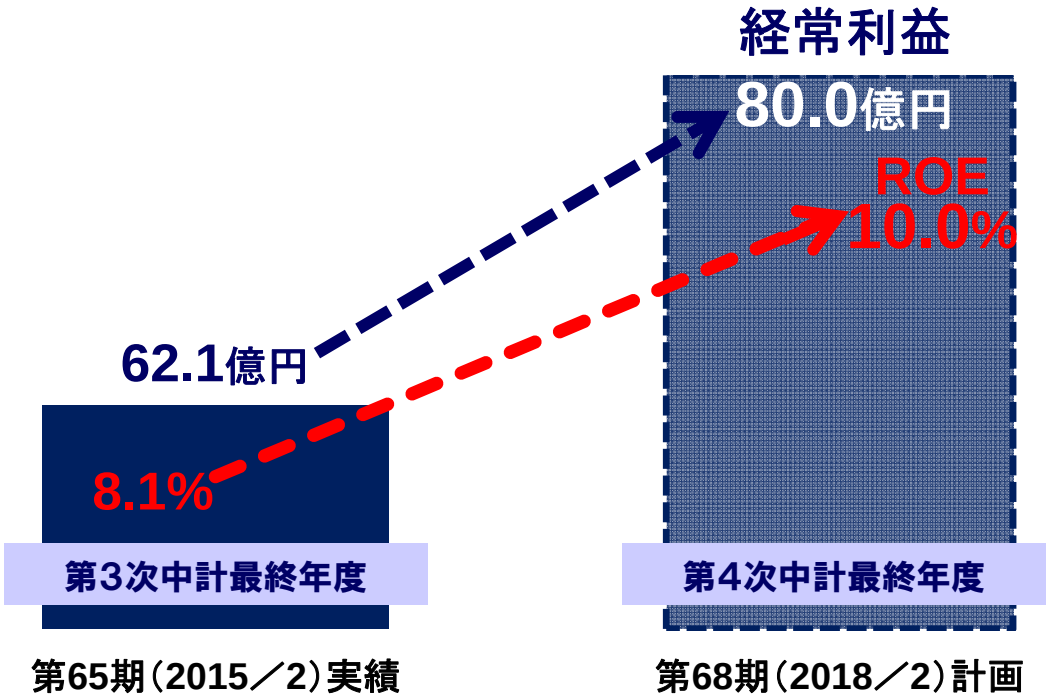
3 グループ経営管理機能の強化

第4次中期経営計画基本方針～数値ビジョン

4℃ holdings group

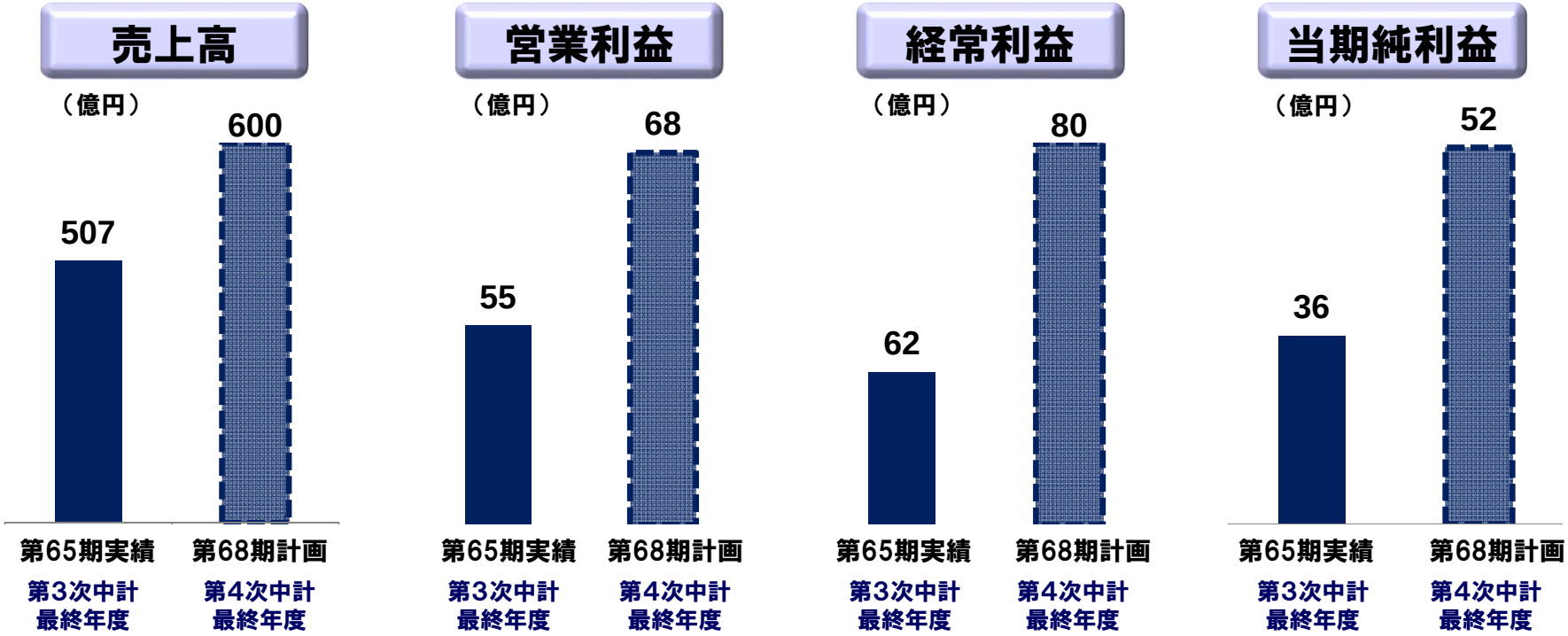
数値ビジョン （2018年2月期）	
連結売上高	600億円以上
経常利益	80億円以上
ROE	10％以上

数値ビジョン達成イメージ～経常利益とROEの見通し



第4次中期経営計画～連結数値計画

4℃ holdings group



（億円）	第65期（2015/2） 実績 第3次中期経営計画最終年度	第68期（2018/2）計画 第4次中期経営計画最終年度	変化率（％）
売上高	507.3	600.0	＋18.3
営業利益	54.7	68.0	＋24.3
経常利益	62.2	80.0	＋28.6
当期純利益	36.4	52.0	＋42.9

第4次中期経営計画の重点施策

4℃ holdings group

□「成長エンジン6本柱」の継続による事業規模の拡大

⇒　第3次中期経営計画にて中長期的な成長エンジンとして定めた6本の柱(「4℃」ジュエリー、「4℃BRIDAL」、「canal4℃」、アパレルメーカー事業、アパレルSPA事業、デイリーファッション事業)により、引き続き業績を牽引

□積極的な出店戦略

⇒　2018年2月期までの3年間で、70店舗※の新規出店を目標に積極的な出店戦略を継続

□次の成長戦略を担う事業の開発・育成

⇒　Luria4℃、EC事業、海外事業の拡大、および新ブランド・新ゾーンの開発に注力

※同一店舗において複数のブランドを扱う店舗を出店する場合があります。月次情報においては取り扱いブランド数にて公表しておりますので、最終年度末の店舗数とは必ずしも一致しません。

第4次中期経営計画～ジュエリー事業の基本方針①

4℃ holdings group

ジュエリー事業（FDCプロダクツグループ）数値計画

（億円）	第65期（2015/2） 実績	第68期（2018/2） 計画
売上高	284.1	347.0
営業利益	50.3	60.0
経常利益	51.6	61.0
当期純利益	29.9	40.0

◆（株）エフ・ディ・シィ・プロダクツ 事業ビジョン

1 「4℃」ジュエリーのブランド価値向上
既存店対策の継続、ブランドミックスによる複合店開発、
ゾーンおよびアイテムの展開拡大による店舗スペース拡張

2 「4℃BRIDAL」の強化・拡大
出店継続（3ヵ年で13店出店、計50店舗）、接客、品揃え、サービスの競合他社への優位性の確立

3 「canal4℃」による都市型SCマーケット拡大
出店継続（3ヵ年で18店出店、計53店舗）、低価格商品群の充足

第4次中期経営計画～ジュエリー事業の基本方針②

4℃ holdings group

◆（株）エフ・ディ・シィ・プロダクツ 事業ビジョン（続き）

4 「Luria4℃」による財布・革小物マーケット拡大
出店促進（3ヵ年で20店舗計画、計26店舗）

5 EC事業の拡大
カスタマーサービスの向上を目的とした運営体制の構築

6 生産・品質管理の強化による優位性の確立
成長戦略に対応したSCMの構築

7 海外戦略の推進
中国主要都市への出店継続（3ヵ年で4店舗計画、計10店舗）

8 「MAISON JEWELL」の育成
郊外型SCブランドとしてのMD構築

9 「deux et deux」の再構築
ブライダルとペアジュエリーによる新たなビジネスモデルへの転換

第4次中期経営計画～アパレル事業の基本方針

4℃ holdings group

アパレル事業(アスティ、三鈴、アージュの合計)数値計画

(億円)	第65期(2015/2) 実績	第68期(2018/2) 計画
売上高	252.2	271.0
営業利益	5.2	7.0
経常利益	8.3	10.0
当期純利益	5.9	6.0

◆ 事業ビジョン

(株)アスティ　アパレルメーカー事業の拡大

(株)三鈴　基幹ブランドの再構築

(株)アージュ　ディリーファッション事業の拡大

利益配分の考え方

4℃ holdings group

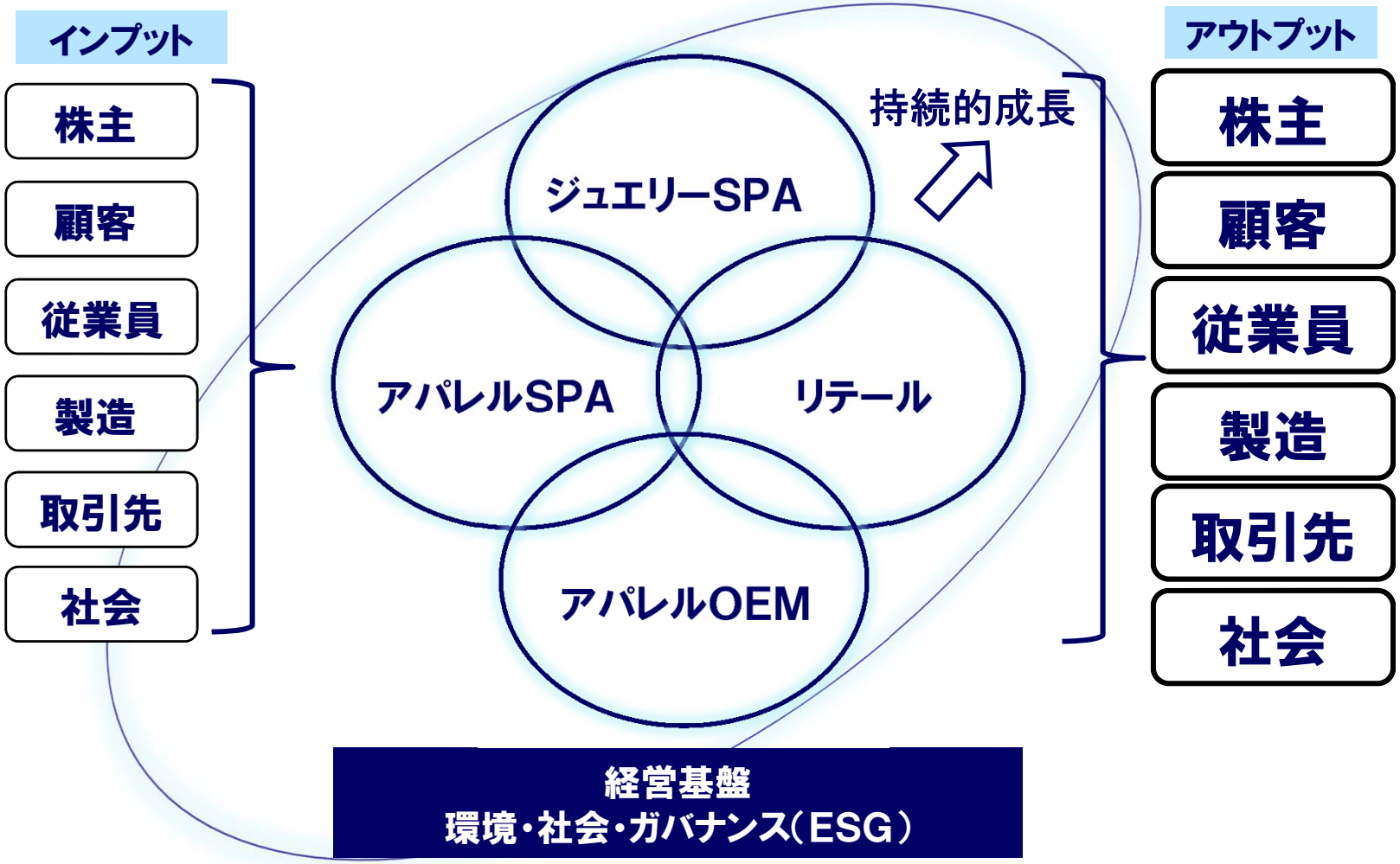
総配分性向を現在の25％から段階的に高め、30％をめざす。

- 安定的・継続的な配当の他、機動的な自己株式の取得を継続
- 株主への利益還元後のキャッシュの使途として、Ｍ＆Ａも視野に

安定的・継続的成長に向けて～持続的価値の創出

4℃ holdings group

ジュエリーSPA、アパレルOEM、アパレルSPA、リテールの4つの事業で価値拡大を目指す



ESGの課題への取り組み～人材育成

4℃ holdings group

◆ 次世代リーダーの育成

- □ 企業理念の浸透を目的とした社内スクールの設立予定
- □ 知識とスキルの習得を目的としたグループ横断的な階層別研修の継続

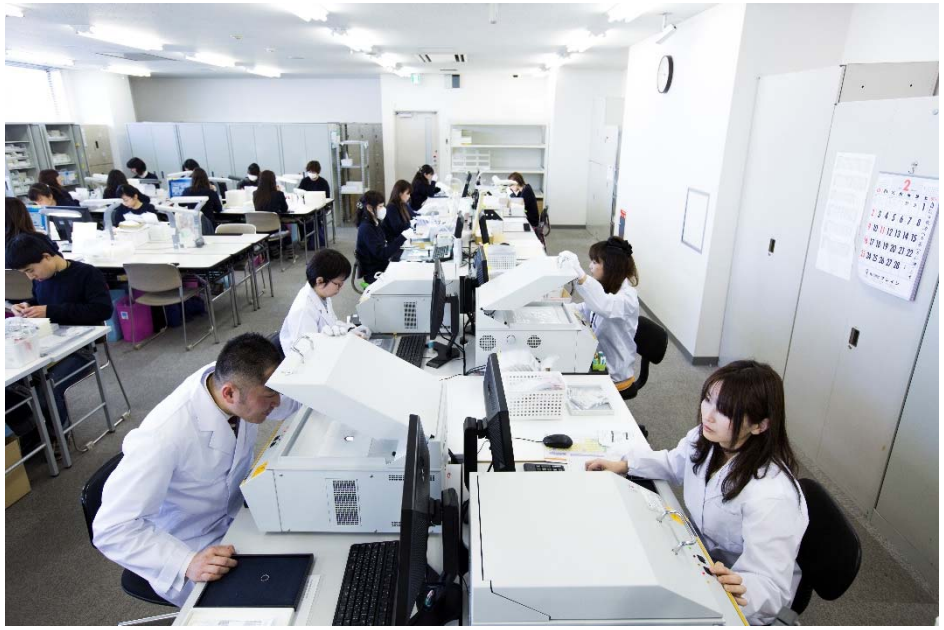
◆ 女性の活躍推進

- □ グループ初となる女性執行役員の誕生
- □ エフ・ディ・シィ・フレンズの契約社員168名の正社員登用
- □ 産休・育休後の女性社員の就業環境の整備

ESGの課題への取り組み～品質管理

4℃ holdings group

- お客様の安心・安全を担保するESGの取り組みの一環として、ブランド価値を維持するための品質管理体制強化への投資を実施
- X線検査機の増設や検品人員100名体制等、ジュエリー全数検品に向けた取り組み
- 業界では類を見ない高水準の品質管理体制を構築



最後に

4℃ holdings group

- 第4次中期経営計画では、「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて、「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組む

- 創業以来のチャレンジ精神のDNAを受け継ぎながら100年企業を実現するための一番の鍵は、「人材」である

- 「人材の育成」を最重要課題として捉え、 社内スクール等を通じて「次世代リーダーの育成」や「女性の活躍推進」に取り組む

- 「商品力の強化」では、お客様に感動を与える付加価値の提案を行うとともに、高品質で安全な商品を提案する

- 「マーケット動向の把握」では、お客様視点を常に持ち続けることで対応していく

本日は誠にありがとうございました

本資料ならびにIRに関するお問合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4℃ホールディングス

総務部　小塚

TEL　03-5719-3429
FAX　03-5719-4462
E-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。